

第8回グローバル教育セミナー

# 難民問題とグローバル教育

日時

2016年11月9日(水) 10:30~12:10

場所

宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階 多目的ホール

\*参加費無料:どなたでもご参加いただけます。

## プログラム

10:30~ はじめに:挨拶

田巻 松雄 (宇都宮大学国際学部 学部長/教授/国際学部附属多文化公共圏センター 副センター長)

10:35~ 趣旨説明

重田 康博 (宇都宮大学国際学部 教授/国際学部附属多文化公共圏センター センター長)

10:40~ 学生によるワークショップ「難民問題と私たち」の紹介

発表者: 第8回グローバル教育セミナー学生実行委員

10:50~ 基調講演 「世界の難民と日本~じぶんごととして考える~」

石川 えり (認定NPO法人 難民支援協会 代表理事)

11:50~ コメント 陣内 雄次 (宇都宮大学教育学部 教授)

11:55~ 質疑応答

12:05~ 終わりに 湯本 浩之 (宇都宮大学留学生・国際交流センター 准教授)

12:10 終了

主催: 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

後援: 宇都宮市、宇都宮市教育委員会、(公財)栃木県国際交流協会、NPO法人宇都宮市国際交流協会

協力: NPO法人開発教育協会、まちなか・せかいネット・とちぎ海外協力NGOセンター

\*後援および協力については申請中

## 講演者紹介

### 石川 えり 認定NPO法人 難民支援協会 代表理事

上智大学卒。1994年のルワンダにおける内戦を機に難民問題への関心を深め、大学在学中、JAR立ち上げに参加。大学卒業後、企業勤務を経て2001年より難民支援協会（JAR）に入職。直後よりアフガニスタン難民への支援を担当、日本初の難民認定関連法改正に携わり、クルド難民国連大学前座り込み・同難民退去強制の際にも関係者間の調整を行った。2008年1月より事務局長となり2度の産休をはさみながら活動。2014年12月に代表理事就任。共著、『支援者のための難民保護講座』（現代人文社）、『難民・強制移動研究のフロンティア』（現代人文社）ほか。二児の母。

## 趣旨説明者(多文化公共圏センター長)紹介

### 重田 康博 宇都宮大学国際学部 教授/附属多文化公共圏センター センター長

専門分野は、国際開発研究、国際NGO研究。オックスファム・ジャパン監事。JVCとちぎネットワーク代表。CMPS福島乳幼児妊産婦プロジェクト・アドバイザー。著書に『NGOの発展の軌跡』（明石書店 2005）「第4章ミレニアム開発目標」田中治彦編著『開発教育-持続可能な世界のために』（学文社 2008）『国際NGOが世界を変える』（共著、東信堂 2006）他。

## コメンテーター紹介

### 陣内 雄次 宇都宮大学教育学部 教授

宇都宮大学教育学部教授。専門分野は、住居学、まちづくり、NPO論など。大学では、「住宅政策論」地域居住論などを担当。認定NPO法人宇都宮まちづくり市民工房理事長。著書に『コミュニティ・カフェと市民育ち』（共著、萌文社 2007）、『地方都市の再生戦略』（共著、学芸出版社 2013）など。

## 実行委員紹介

阪本 公美子	宇都宮大学国際学部准教授/多文化公共圏センター員
湯本 浩之	宇都宮大学留学生・国際交流センター准教授
大浦 智子	とちぎYMCA
根本 久美子	大学院国際学研究科博士後期課程
高階 悠輔	大学院国際学研究科博士前期課程1年
森島 光太郎	国際学部国際社会学科1年
滝川 由佳	国際学部国際社会学科4年
吉田 香	国際学部国際社会学科4年
田口瑞輝	国際学部国際社会学科1年
ヌール・アルバゼルバシ	国際学部国際文化学科4年
岩上享子	国際学部国際社会学科1年
谷ロジェニフェ	国際学部国際社会学科1年
ホアン・アン	国際学部国際社会学科1年
渡辺早希	国際学部国際社会学科1年
田畑達也	国際学部国際社会学科1年
大瀧真優	国際学部国際文化学科1年



### ■ 会場アクセス

宇都宮大学峰キャンパス 大学会館  
〒321-8505宇都宮市峰町350

### ■ お問い合わせ

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター  
TEL/FAX : 028-649-5228  
E-mail : tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

参加費無料

どなたでもご参加いただけます